

教職員からのメッセージ

健康支援センター 原田一郎

ドラゴンボールのクリリンをご存じでしょうか。ご存じない方へのつかみはここで失敗なのですが、有名なアニメですから知っている方が多い前提で話を進めます。私は本学で学生さんたちの悩みを聴いて、「この学生さん、クリリン（*特に初期）みたいだ・・・」と思うことがたびたびあります。どういう時にそう思うかというと、学生さんから「自分には強みがない・・・」「社会に出てから通用する気がしない・・・」などの相談を受ける時。私から見ると十分に強みがあるといえますか、高校・高専や大学と様々な経験をする中で働き始めてからも役に立つ（≒就活でもアピールできる）いろんな能力を伸ばしている様に見えます。知識だけでなく、モノづくりに関わる実装化や最適化、実験レポートによる客観的な報告、発表の仕方など、どれも社会に出てから役立つ経験につながっているような・・・。さらに本学はリベラルアーツも充実しています。けれども、どうも学生さんの側からすると、周りのみんなもできてきているから“できるのが普通”という感覚になるらしいのです。

でも、ちょっと考えてみて下さい。皆さんは理系に関わるエトセトラが得意で高専や技科大に入学している方たちです。得意な分野を中心に様々な知識や技術を身につけながら切磋琢磨している環境では、成長する部分や強みが周りの人たちとかぶりやすいのは当たり前。周りに比べて「なかなかうまく授業・研究などの課題がこなせない・・・」と感じることもあると思いますが、トライ&エラー&トライの中で身につくことはたくさんありますし、その環境の中で身につけてきたことを本当の意味で強みとして実感できるのはおそらく働き始めてからなのでしょう。

で、上記の内容がクリリンを彷彿とさせるのですが、この人物は物語のはじめのころ、亀仙人の元で悟空と一緒に修行します。何十キロもある亀の甲羅を背負って走ったりとそれはもう大変な修行の中でどんどん強くなるのですが、本人はなかなかそれに気がつきません。なにしろ一緒に修行しているのが悟空です。本当の意味で自分が強くなったことを実感するのは天下一武道会にでてからなわけです。

コロナウイルス感染症による日常生活、大学生活の変化（遠隔授業が中心の状況なんて昨今の今頃は考えてもいませんでした！）の中でなかなか上手く行かない、周りの人たちはできているみたいなのに・・・と思いながらも、自分なりに工夫して取り組んでいる方も多いと思います。そういう経験の中で知らず知らず身についたり、成長していることは結構多いですよ。「自分の強みになっている経験ってなんだろう・・・」と思ったときはぜひ学生相談室をご利用下さい。ご自身で考えるだけだとなかなか気がつかない視点から、自らの経験を振り返ることができるかもしれません。

一方で、これだけ環境が変化すると、ストレスを抱えている方も多いことと思います。これまで当たり前できていたことや、やりたかったことがなかなかできなくなる、そんな中で不安や疲れ、気持ちの落ち込みを感じるのはとても自然なことです。そういう時も是非、相談室を利用して見て下さい。どんな相談でも構いません。気軽にご利用をお待ちしております。

相談室の利用の仕方は下記 URL に載っています。この URL には学生相談スタッフからのメッセージ（あずゆーらいく）やストレスの対処法やなど様々な情報が掲載されていますのでぜひ一度覗いてみて下さい。